

8月21日参加者9名が車に乗り合わせ、松本方面を出発。中央高速道を走り、大月JCからは河口湖ICを経由し、富士スバルライン5合目を目指す。4合目付近からマイカー規制解除による大渋滞に出くわすが、交通警備員に「佐藤小屋泊まり」と言うと、優先的に対応してくれて、渋滞する車を尻目に走り登り、AM11:45五合目佐藤小屋に到着、泊する。昼食後、体調を整える為6合目に登る。そこは一般登山道との合流場所となり、頂上を目指す登山者が数珠繋ぎに登山道に連なっている。夕方、西空が茜色に染まり、明日の天気を期待して就寝する。

西空が茜色に染まる



七合目で日の出を迎える



七合目岩礫帯の登山道を登る

翌22日AM3:00準備を整え、森林帯の暗闇の中、ヘッドランプを照らし登り始める。6合目から溶岩礫帯をジグザに登り、7合目付近の長い岩礫帯の登山道を登り続け、8合目3200mで朝食を摂る。中休止後、皆元気を取り戻し、本八合に登り出ると、須走り口からの登山者と合流する。仰げば、今まで視界から隠れていた富士山頂が望まれ、一気に8合5尺、9合目を登り、登山者で渋滞する山頂ルートを目指す。

八ヶ岳を背景に八合目を行く



お鉢巡りして、外輪コースを行く

階段状の溶岩道を登り、大きな鳥居を潜ると、AM9:30登山者で渋滞する山頂の稜線に登り出る。「やった！」一休み後、お鉢巡りをして剣が峰の最高点を目指すこととする。青空の下、外輪コースを行く。噴火口を右眼下に望み、御殿場、富士宮ルート of 合流ルートを左に見て進み、赤茶けた急坂を登り詰めると、AM10:45二等三角点の在る日本最高点剣が峰3776mに到達する。「おめでとう！」。全員で記念撮影をする。山頂からは、周囲を見渡すが沸きあがる白雲に覆われ、展望が効かない。



日本最高峰剣が峰 3776m



山頂に全員見事登頂



砂礫路の下山道を下る

剣が峰で15分程の憩いの後、富士山の御鉢巡りの残コースを半周して吉田口山頂へ向い、山頂小屋で温かい昼食を摂り、PM12:15下山を開始する。専用の砂礫道の下山路を、眼下に広がる雲海に向かって下り続け、PM3:15、5合目佐藤小屋に到着する。PM3:45、全員乗ってきた同じ車で、往路と同じ道路を帰路として、河口湖ICから中央高速道を走り、PM6:45、松本へ到着。解散とした。

「気高く、厳しくそして大きな日本一の富士山、その頂に立ち、登頂を果たしたと誇れる」登山だった。